

令和3年度第12回(第227回)隠岐の島町教育委員会会議録

1. 開催日時 令和4年2月24日午前9時30分
2. 開催場所 隠岐の島町役場 3階 301会議室
3. 出席委員 教育長 野津 浩一
教育委員 野津 幸恵
教育委員 山下 豊範
教育委員 常角 敏
教育委員 谷田 一子
4. 欠席委員 なし
5. その他の出席者 総務学校教育課長 吉田 隆
社会教育課長 野津 千秋
中央公民館長 金坂 賢一
総務学校教育課長補佐 中村 恒一
6. 開会宣言 事務局職員が出席者及び資料の確認をした後、教育長は開会を宣言した。
7. 教育長報告要旨 教育長は前回の教育委員会の会議から本日までの主な事項を報告した。
－報告要旨－
 - 2月5日、布施地区で立志式が行われ初めて出席した。今回4名の中学2年生が立志を迎え決意を述べたが、厳かな中、地域や家族のことを思ったいい内容であった。今後、生徒も減り、維持が大変になってくる。
 - 2月16日、ポーランドクロトシン市とのオンライン会議が開催され、クロトシン市長、副市長、議長と今後の姉妹都市の交流について意見交換を行った。国際交流員のイザベラが町内の児童生徒と、クロトシン市の児童生徒との文通を隠岐高校や養護学校など、色々な学校に広げてくれている。今後も継続していけたらよいと思う。
8. 議 事
【議第1号】 令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算(第8号)について
 - 議第1号の「令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算(第8号)について」、事務局職員の説明の後、審議を求めた。－説明要旨－
(総務学校教育課長、社会教育課長) 3月議会定例会に提案する補正予算である。それぞれの補正予算について、また、繰越明許費、債務負担行為補正について追加資料により説明を行った。
今回の主な補正内容は、国の追加補正により、学校における感染症対策等支援事業を追加して

補正する。西郷中学校法面災害対策工事の減額については、2年連続の大規模な災害により、島内業者の年内施工が困難と見込まれるため、改めて新年度に予算計上するものである。都万中学校グラウンド整備設計業務については、必要性を協議した結果、事業の見直しをするものである。

その他、事業の実績見込みにより増減するものである。

－質疑応答－

(常角教育委員) 学校等における感染対策等事業について、学校の方で必要なものを購入するのか。

(総務学校教育課長) 当然学校と協議するが、この事業を活用し、一部のICT機器についても整備させていただきよう考えている。

(野津教育長) 隠岐郡陸上競技協会負担金に関して、4年に一度の公認グラウンドの認定のための経費とのことだが、隠岐高校から総額いくら掛かって、町がいくら負担するようになるのか。

(社会教育課長) 4種ライトの公認に係る備品として106万円が必要となった。これは検定員より、ボタン・ストップウォッチ・温室時計など11種類の備品について指摘があったもので、それらを4町村で負担割合により計算すると隠岐の島町で不足分が580千円となる。グラウンドの整備については島根県教育委員会が行う。公認グラウンドで出した記録でないと公式の記録とならない。

(谷田教育委員) 4種のライトとは。

(社会教育課長) 4種ライトの認定だと4種の認定より備品整備が少なく済むなど負担が少ない。

－審議結果－

○ 審議の後、全員の挙手により議第1号について原案のとおり議決した。

【議第2号】 令和4年度隠岐の島町一般会計当初予算について

○ 議第2号の「令和4年度隠岐の島町一般会計当初予算について」、事務局職員の説明の後、審議を求めた。

－説明要旨－

(総務学校教育課長、社会教育課長、中央公民館長) 当初予算説明資料及び議案資料により、それぞれが担当する令和4年度当初予算について、主に新たな事業の説明をおこなった。

休憩(11:03～11:11)

－質疑応答－

(常角教育委員) 資料4P93、教育指導事業の学校運営協議会について、五箇地区をモデルにということだが、小中学校を一緒に学校運営協議会とするのか、また、これまでの学校評議員会はなくなるのか。

(総務学校教育課長) そのようになってくる。

(常角教育委員) 私は隠岐高校の学校評議員をしているが、来年度から学校運営協議会となる。これ以外の学校は、まだ、その後ということなのか。

(山下教育委員) P95、高校魅力化事業の隠岐高校のコーディネーター1名減となった理由はなぜか。

(総務学校教育課長) 隠岐高校については2名のコーディネーターを配置し、約6年取り組んできた。ジオパーク研究などで成果もあったが、課題も多く、中学校からも隠岐高校コーディネーターの姿が見えないなど声もあった。また、事務局との意思疎通もできていなかったため、体制を変えて、3名のコー

ディネーターで連携して取り組む方向としている。全庁的に見ても同じ職場に会計年度任用職員を2名配置というのは難しかった。学校からも1名減は厳しいとの意見はいただいているが、この体制で進めていくことを説明したところである。

(谷田教育委員) まず、高校の魅力化は何かというのが大事なところである。隠岐高校、水産高校、養護学校とそれぞれ目指すものが違うということはある。普通高校は何を魅力とするかということ掘り下げが大事になってくる。3名で回すことで視点も変わり、見直すこともできその良さはあると思うが、関りが弱くなるデメリットもある。それぞれの学校で特性が違うので深く関わられるポジションの人がいることがよいと思う。

中学から進学を目指すことを考えたとき、島外流出が多い現状がある。隠岐高校の魅力は例えば「ここで君たちが学びたいことが学べる。」など、何かというところを先生方、関係者が持っておくべきで、その上で魅力化を進めていくべきである。島内の子どもたちへのアピールも絶対必要だし、島外へと迷っている生徒を「隠岐高校に行けばこんな学びもできるぞ。」など取り返すような関わりも必要だと思う。

島で育った子どもたちが「あと3年、18歳まではここで頑張りたい。」という気持ちにさせてもらいたい。
(常角教育委員) ジオパーク研究なり、魅力化をやっていくのにあたり、もっと研修が必要と思う。昨年6月に隠岐高校に行ってジオパーク研究の授業を見たときに、生徒が疑問に思ったことに対して、コーディネーターが情報を持っていなかった。講師リストを作るなど情報を集め、それをもとに学習にあわせて講師を利用するなど、子どもたちが疑問に思ったことに対応できる情報、知識を持っておく必要がある。実際にジオパーク研究の発表会も見たが、小中学校の教育の焼き直しではないかと思った。もっと深く学習できるように仕向けるべきだと感じた。

(野津教育委員) 地元の高校に行きたいかどうか、小中学校のふるさと教育が繋がってのものでもある。また、小中学校でふるさと教育を頑張っているけど、高校に行ったときに切れてしまうというのは勿体ない。このことは、小学校と中学校の間でもある。小中学校では何をしたら高校ではこれが必要だということに深まっていかなければならない。その役割が重要。

(総務学校教育課長) 私も考えていることで、ありがたいご意見であった。今のコーディネーターも大変頑張っており、評価もしているが、連携不足からくる情報の不足などもあったと思う。一方では色々なところにアンテナを張っているコーディネーターもいる。

「隠岐高校＝ジオパーク研究」ではないかもしれない。子どもたちが何を求め、親が何を求めているのかももう少し皆で話し合う必要がある。各学校でコンソーシアムを立ち上げて、それぞれ町の人にも入ってもらい意見を聴く体制が整いつつある。隠岐高校の良いところをもっと表現できたり、連携できたりすればよいと思っている。

(野津教育長) コーディネーターに対する皆さんの期待が伝わった。教育委員会として話をする場があってもいいと感じた。またそういった機会も作りたい。

(常角教育委員) 以前は社会教育課がふるさと教育の講師リストを作って各学校に配付していた。年数も経ったし、先生も変わっていると思うのであった方がよい。また、ふるさと教育費として地域講師の謝金の予算もあったが今はどうか。

(社会教育課長) 地域コーディネーターに支払う謝金は今でもある。

(野津教育委員) 最初は個人の方に支払っていたが、いつから個人ではなく、コーディネーターに支払うようになっていった。

(社会教育課長) 県の補助金の制度がそうなったため、使いにくいとの声もある。

(野津教育長) 講師のリストを作るのは難しいかもしれないが、情報を持っておくことは必要。

(野津教育委員) P98、教育振興事業の要保護・準要保護費が昨年より減っている原因は児童生徒数が減ったためか。

(総務学校教育課長) 基準は変わっていない。詳しくは分からないが生活保護に移行されているためと考えられる。

(常角教育委員) P103、社会教育事業の社会教育施設長寿命化計画策定業務であるが、3つの施設で12,000千円は高いと感じるが。

(社会教育課長) 業者から見積もりを取っている。3施設分で1施設4,000千円程度であるが、合わせることで経費が少し安くなっている。

(山下教育委員) それを基に何年後かを見据えて計画を立てるのか。

(社会教育課長) 建設から20年以上が経っている施設で、その都度修繕をしてきている。一度全体を見る必要がある。

(野津教育長) 国から補助金をもらうためにも必要で、道路やトンネルなどの公共施設も長寿命化計画が必要となっている。

(総務学校教育課長) 学校施設も策定しているが、財政面のこともあり、なかなか計画どおりにはなっていないのが現状である。

(野津教育委員) 今までの様に壊れてから直すのでは困る。例えばエアコンなどは壊れるとすぐに困る。前もって計画し、整備していただくと助かる。

(中央公民館長) 生涯学習センターも長寿命化計画を近く策定する必要がある。

(山下教育委員) 計画を策定し、その策定した業者には責任というのではないのか。

(野津教育長) そこにはない。この計画を策定することで国にも補助をお願いしやすくなる。

(常角教育委員) P108、文化財保存継承事業の国府尾城活用整備事業費に修景伐採費があるが、一番重要なところを伐採ということで嬉しく思う。

(谷田教育委員) 最近、国府尾城周辺の環境整備など話を聞くことが多く関心が高まっている。西郷港周辺整備の流れもあり、これとリンクしたらよいと思う。

(野津教育委員) 川沿いの道もうまく整備されればと思うが。

(総務学校教育課長) 川沿いについては、建設課が計画しているが一部難しい箇所がある。

(野津教育長) 学校施設に関連して、西郷小学校のプールの廃止について説明していなかったと思う。

(総務学校教育課長) 西郷小学校プールについては、近年、ポンプの故障や水漏れが頻繁に起こり、予算をかけて補修してきたところである。今年度も相当な水漏れがあり、あわせて先生方の労力も多くなってきている。今後、改修費用に多額の予算をかけてすることは難しく、今年度を持って廃止する方針とした。西郷小学校については、屋内温水プールも近くにあることからそこを活用し、夏場だけでなく年間を通じた利用となるように調整していただくこととしている。

各委員からは、残念との声が沢山聞かれたが、方針については了承いただいた。

－ 審議結果 －

- 審議の後、全員の挙手により議第2号について原案のとおり議決した。

【議第3号】 隠岐の島町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について

- 議第3号 「隠岐の島町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について」、事

務局職員の説明の後、審議を求めた。

－説明要旨－

(社会教育課長) 社会教育課の事務分掌にあるジオパークの総括についてであるが、4月からジオパーク推進協議会と隠岐観光協会が合併し新しい組織となり、観光を中心としたジオパークの推進を進めていくことから総括を商工観光課が担うこととなるため改正する。

(野津教育長) ジオパーク推進協議会は新しい組織となるが、これについては改めて説明させていたきたい。

－質疑応答－

○ なし

－審議結果－

○ 審議の後、全員の挙手により議第3号について原案のとおり議決した。

9. そ の 他

【令和3年度第13回教育委員会の開催日時について】

○ 令和3年度第13回、3月の教育委員会の会議については、事務局職員の提案に異議がなかったため、3月24日木曜日、午後1時30分から隠岐の島町役場会議室で開催することとし、会議終了後、佐々木家住宅改修工事の見学会を開催することとした。

【議事録の確認について】

○ 令和3年度第10回教育委員会会議録について、委員全員により確認を行った。

10. 閉 会 宣 言 教育長は閉会を宣言した。

11. 閉 会 日 時 令和4年2月24日 午前11時57分

12. 会議録作成者 総務係 中村恒一

署名日 令和4年2月24日

隠岐の島町教育委員会 教育長

野津浩一